滿洲日報

三月十日

明治四十一年三月十日
火曜日（きのへ　れ）
西曆一千九百八年三月十日
淸曆光緒三十四年二月初八日

●發行日　每日發行（但日曜日及大祭日翌日休刊）
●定價　一枚金參錢　一個月前金六拾錢　半個年參金參圓　四拾錢　一個年前金六圓　五拾錢
●廣告料　五號活字十九字詰一行一回金參拾錢　同特別廣告金六拾錢
發行人　長井實
編輯人　和田敬喜
發行所　奉天大西關　滿洲日報社（電話一二二番）

鐵道時間表
二月改正
金州　普蘭店　瓦房店　得利寺　萬家嶺
撫順　蘇家屯　奉天　虎石台
公主嶺　范家屯　孟家屯　四平街　寬城子
上り　下り　蘇家屯長春間

滿洲日報

本日の奉天紀念祝賀會

古來大小征戰、其の麗豈に啻だ百千のみならんや、大戰奉天戰役の如く、奇捷奉天戰役の如き、亦た思ふに十數を以て計ると得べしとせん。而も吾徒か特に奉天戰役に於て其の勝利の異常と奏功の絕大とを嘆稱し記念し慶祝せざる可らざるもの、其の故何ぞや。

夫れ兵は凶事なり、其の人を戕し家を燬き、城を拔き寨を屠る、贏つも輸くるも、唯だ其の悲むべきを見て喜ぶべきを見ず、況んや慘禍及ぶ所、無辜々殺戮し、產業を荒壞し、生民をして塗炭の苦に陷らしむ、狀や傷目に堪へたりと爲す。而も吾徒が人生の大悲慘事、人類の大兇惡を犯してなりとも、尙ほ且つ戰勝の光榮を謳歌せざる可らずといふもの、奉天戰役の終結の實に東亞永遠平和の基礎と爲り、我國民的大陸發展の一新紀元と爲れるを以てに非ずや。

日露兩國民は其の性格に於て、寧ろ他の歐米諸國民よりも、最も多く接近すべき一致の或物を有す、而も數十年に亘れる不祥の外交關係は、兩者を疎隔して、互に相ひ疾視し反目せしめ、善隣の友邦常に呉越の怨仇を爲し、遂に滿洲撤兵問題を最近の動機として、國交斷絕、彼我互に砲火の間に相見ゆるに至る。當時我れや微弱、勝敗の決未だ孰れに在るを知るべからず、不幸我れ一敗衂せば、東亞に國する者、永く露人の暴虐に制馭せられざるを得ず。而も天道無私、正義を棄てす、六師嚮ふ所、海に陸に、連戰連勝、奉天の一戰、遂に能く其の主力を摧殘し、遠く露軍を北方に驅逐し、敵兵復た鬪志無く、平和の端此に始めて萌芽し、尋でポーツマスの訂約を見るに至る。兵は凶事、而も此の一戰によりて東亞永遠の平和を購ひ得たりとする、吾徒豈に其の奇捷と偉功とを嘆美し記念し慶祝せざるを得んや。

我邦は世界の故國たり、而も絕東に孤居して久しく外國と交らず、其の國を開いて列邦と修好通商せるは、僅に五六十年前に在り、銳意智識を宇內に求めて富强の道を圖ると雖も、力微にして勢振はず、往々外國の凌辱する所と爲る、日淸戰役及び北淸事變は、我武威を中外に耀示するに於て唯一の好機會なりしかど、國力の外に伸びざるとは依然として舊の如く、當時滿洲は南北を連ねて全然露國の勢力下に歸し、露國は重兵を擁して隱然滿洲の副主權者と爲り、各國の在住民を監視し、商旅の來りて生業に從事せるもの、喘々焉として其の鼻息を窺ひ、狀繫囚も啻ならず、況んや我政府の無力を以てし、當時邦民の來りて勞役に從ひ商業を營む者、數千人に及べりと雖も、露國の壓虐を受け露國の迫害に遭ふて、訴ふるに其の處無く、滿洲には殆ど永住的の我殖民なる者を見るある無し、而して奉天の一戰、遂に能く露國を北方に驅逐して、我れ代りて滿洲に優越の勢力を占得し、世界の爲めに、其の實藏を開いて列國通商の區と爲し、我國民をして大陸に永住的殖民の端を啓かしむるに至る、王師は妄りに殺を嗜むべからずと雖も、我國力外展上、其の奇捷と偉功とは、豈に復た嘆美と記念と慶祝とに値せずとせんや。

奉天戰役の終結は之を東亞の[illegible]和と我國力外展の上よりして、吾徒は我國民の最も光榮ある記念日として追憶を禁ずると能はず、況んや現に滿洲に來り當年激戰の場たる奉天に在り、平穩に各自の生業に從事する者、其の感や殊に深からざるを得ず、本日適ま其の第三次記念日に會し、我在奉の官商相一致して、盛大の祝典を擧行せんとす。吾徒は在留邦民の此の盛擧を多とし、斯の吉辰に對し哀心の祝意と喜悅とを表せんとす。然れども吾徒は此の記念日により吾邦の努力の偉大と成功の絕大とを知ると共に、此の戰役の終結と共に我責務の更に一層の重大を加へ、我帝國の前途の更に一層の困難を加へたるを知らば、則ち今日の祝典、喜んで濫に至らず樂んで荒むに至らざる、即ち亦た大國民用意の存する所に非ずや。

訪問錄

一記者

關東洲の農業と農事試驗場

都督府農事試驗場長　長岡學士談

▲沿革　西公園にある今の建物は露西亞から引繼いたもので二棟の大きな建物と二個の暖室と五町程の試畑を持つてる露西亞は一面公園の風致を作つて市民を樂ませるのと一つは市民に供給する穀物野菜の試作を爲すので露西亞が關東州淸人に便益を與ふるといふ目的では無かつたらしい夫れはダーリニイが我軍に收められたとき此處から出た農具主として大農的の農具の多數があつて爲めに我軍より農商務省を經て各地の農學校に配布せられたのでも判る

▲組織及方針　農事試驗場は今は都督府に屬して長として技師一人技手一人其他五六の邦人と數十の淸人より成つてる關東州は廣い樣で實は狹いのであるから日本と異つて一面は大農法を用ゐ一面又小農法を研究せねばならないであるから今は差當り關東州の農作地としての價値を研究して次第々々に殖林などに及ぼして行くのである

▲將來　關東州は狹いけれども農作地としては實に滿洲中一番有望な所である第一に氣候が奉天などは各種の播蒔植付けの時期は如何しても四月でなければ出來ず其收穫も十月に漸く出來るのであるが關東州は三月已に植付播蒔の出來て七月前に其收穫も出來七月第二回の植付の出來て十一月に二回の收穫の行はれるのであるから收穫物は大連の供給と同時に北方の供給も出來るのである又肥料についても此處の農業は日本と異つて牧畜農業であるから豆粕如き高價な物は用ゐる必要がない少くとも豆粕油粕は一度牧畜の食用として其れから其糞となるを待つて肥料に用ゐる事が出來る否な其方がヨリ多くの效力のあるのである又殖林としても關東州は北方の如く山でも石山は少いのであるから先づ松を植ゑて次第〳〵に杉とか樫とかを繁殖させる事が出來る

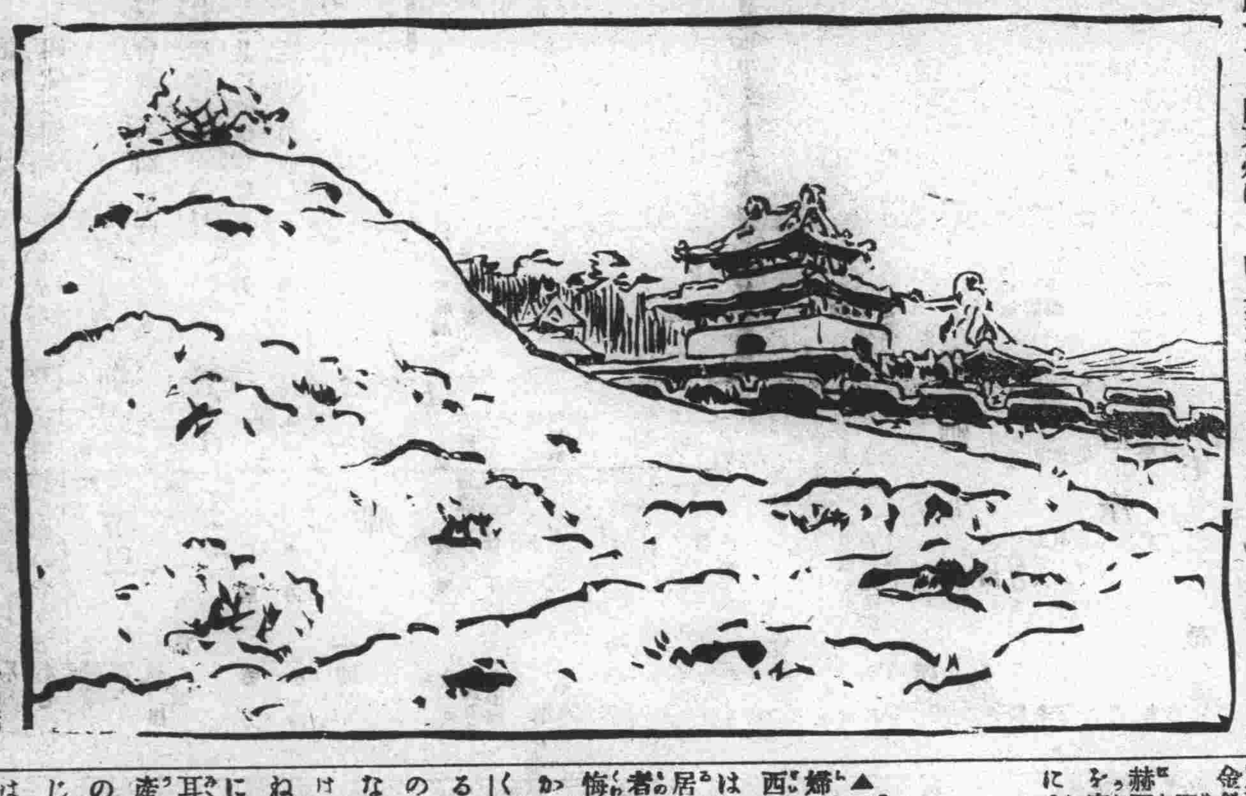
▲市民との干係　試驗場は出來る丈け市民の便宜を計るために全州の淸人を問はず參考の爲めの來觀は大に歡迎してる又害虫の驅除苗種分配は相當の助力を與へる又春になり夏となるに從つて市民の目を樂ますべき花木も出來る丈け多く培養して安價に賣捌くの方針である（文責在記者）

滿洲の三舊都（興京—遼陽—奉天）

馬骨

長白山の群峰重疊する所、鬱勃たる森林數百里に連亘する所、之れ實に現代淸朝の發祥の地である、山上の闥門湖の淸冷鏡の如きほとり、太祖愛親覺羅氏の先世は累代の城鎭を構へ、滿洲の沃野千里を貫きて流るゝ諸大河の帶の如く引ける、を望みて私かに回天動地の壯擧を劃しくあつた所である。

明朝の末路中原の混亂は云はずもがな、眼下一眸の滿洲の平原は漸く朔北の風に荒れて、民は蜘蛛の子の如く、東西に散り强悍獰猛の胡賊南北に走りて、獨り時を得顏に跋扈して居る、風雲は漸く捲き起つた。山上遙かに此樣を眺めたる覺羅氏は莞爾として時こそ至れりと叫んだ、一族郎黨を帷幄に會して玆に作戰の謀は廻され、百年淸冷の地に養はれたる鬱勃の英氣は愈々發揮する時が來た、忽ちにして號令は山下に下つた。



響の如く應じたる山谷の反響は、遂に凝りて一團となり落雷の如く山を下り、强雨の如く平原を走つた。

劫風一度び吹いて靡かざる草木もなく、方數百里忽ちにして眸を遮る何物もなし、胡賊は遂に塞北に匿れ、民は漸く風神を仰いだ。

玆に隱然たる一帝國は建てられ、覺羅氏立ちて天下に號令し、都を赫圖阿拉の地に定めた實に太祖の天明元年明の萬歷四十四年である。太祖建國の初め群臣を集めて諭旨を下し、大義明分を說いた千古の金言がある、曰く

賢臣翊贊朝廷。必求忠良之心、視國家如一體、質天地而無慚。盖忠誠而慈惠。則利濟必周。忠誠而敏達。則庶務就理。忠誠而武勇。則克敵奏功。施之凡事皆可勝任。云々

又諭して曰く

君德明則賢臣悅。君德暗則賢臣憂。人君志慮未周必勸於諮詢。嘉謀讜論聽而受之。然後稱睿智之主。人臣有聞即以入告盡言規諫乃可爲忠誠。夫事方興而諫者上也。事已定而後諫者下也。然猶愈於不諫。求忠誠於直言。有不裨益治道者乎。

倘樸誠詞頗る鄙近な諭旨であるけれども古今治亂の源を說いて漏らさざる所、流石に建國の聖主である、思ふに萬古朽ちさる金鉄の諭旨である。

明君一度立ちて四民均しく聖德を謳歌し赫圖阿拉の都は漸く固く玆に大明四百餘州を窺ふ大望の基は築かれた、赫圖阿拉は實に今の興京である。（未完）

子のある相と子のなき相

▲子のある相　婦人として子のないものは婦人の本領を失ふて居るものであるだから西洋では結婚後ある時日を經てなほ無い時はそれを離婚の口實ト出來るやうになつて居るところさへあるこれなら妻をむかへる者はそこの邊なよく考へて娶らんければ後悔すると思ふ然らばどんな女が子のある相かと云ふと全身の皮膚が濃かでなく何となく脂ぎり底に光のあるやうな身體の人であるされども中には羽二重のやうに滑かのものあるそして性質はどつちかと云へば暢氣な方でなくつて口數少く眼元すとしく耳朶垂れたるやうに大きく唇の厚いものは槪ね女の子を產むものゝやうだ又左の耳の右の耳より大きいのは多く男の子を產む右の耳の左の耳より大きなものは多く女の子を產むものである眼尻に横皺多くして髮の毛の黑いものは男子最も多くして女子少し總じて上體の肥ゑ太つて何となく豐富のものは子を產む事が多いと見て宜しい

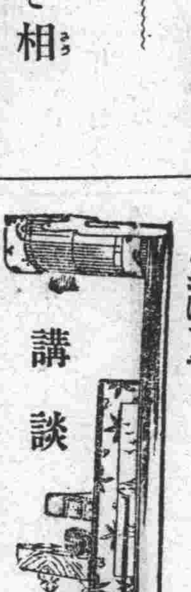
▲子のなき相　此の相は面部ばかりではちと鑑別することが出來ぬ全身の皮膚なめらかであつて少も脂じみずまるで羽二重のやうにすきとほつてるやうに美はしきものでかゝる者は多くは子がない齒は自から白く其先のとがつてるやうなのはこれまた子のない徵である腹の形小くして腰のまはり細く所謂細腰と許すべきは槪ね子のない相である又たとひ能く太りて綿かゴムのやうに柔かくぽか〳〵してるのは如何にも子がありさうだが槪して無いものである口唇紅のみ少くして稍靑き色を帶びたるは之れもまた子なきしるしで頰べたの靑白いのも矢張子がないものだ

文苑

春風憾

靜山生

王たらん望みはもたず君ひとり得なば足るべき我が世なりしを
待ちまさん父母もおわすに歸るべき我家もあるに君しまさねば
妹といへど妻と呼ぶべき君ならず人に許るして嫁きし君かも
怨むれど運命と思ひわずらゐて君かとこ世の幸いのるべき
闇に迷ふ思ひぞせまる待ちわびし十とせの戀の碎けたる夜は
君に似し乙女もあらば手をとりて泣かんとそ思ふ梅月夜哉
嫁く夜の艶なる君が裝をわがたらちねは何と見ませし
人妻と君は時めく春の宵怨する人のあるとおぼすや



本町小町 五福屋政談（第十六席）

邑井一講談

松「さうかい………夫れに万さんお前にチット相談があるんだよ　万「へー何んでげすへ　松「アの五福屋の娘ッ子の病氣と云ふは別じあアない實は戀煩ひサア　万「へー本町小町ト異名を取ッたアの娘に煩はれる程思はれるたア何處のひとだか男冥利だ　松「實に果報者だねエ　万「何處の人だへ　松「アの大門通りの伊勢安と云ふ金物屋ねエ　万「アヽ伊勢安は金物屋中のマア頭だ大きな家でげす　松「彼處に作之助さんと云ふ若旦那があるんだよ私が柞屋お松で居た時分に每度店の人に引ッ張られてお湯の歸りに寄ッては私の三味線で端唄の一つ二つも歌ッたことがあるが本當にアの位の好い男はタントないと斯うマア思ッたこともあるんだがアの方を思ひ染めてお豐さんは煩ひ附いた、所が私は取持と云ふでもないがアの娘の橋渡を賴まれたんだが伊勢屋の息子に實は親しく會ッたこともはないんだから其取持の手續に誠に困まるんだがお前伊勢屋の出入の者を誰れか知らないかへ　万「知らねエヂーどうも………斯ふ云ふ事は何んだねエ醫者をつかまへるのが一番だ聞合はしたら出入の醫者が知れねエこともあるめへ其作之助とか云ふ男は果報者だなア………時に私は髭が生へてムシャクシャして居るから髭を剃ッて湯に這入ッて歸ッて來て一寢入寢てさうして相手をしませうチョイト髮五月剃をして來ます、ブイと表に飛出した万次郎が　万「いめましいなア伊勢屋の息子も兩方大家だから姐御も幾らか周旋料をせしめやうと思ッて隨分色氣と慾氣の深けエのは家の姐御だ五福屋の隱居の所へは四五度往ッて間取の勝手も知ッて居る此りやア今夜巳れが大門通伊勢屋の息子の換玉に化けてアの女を一つ慰さんでやらう甘く往けば逃げて來るし遣り損ッた所で元々だ一晩でもアの婦人を抱いて寢りやア占めたものだもう年頃の娘故遲かれ早かれ何處かに緣附く愈々三々九度でさゝめえて居る所へ證據の櫛か簪を出してお豐さん今夜の婚禮は己れがさせねエと一つ二番目の中幕を出して幾らか金が取れ遣損なやアどうも夫れまでのことよ一つ茶番をやつて見やうか知らん、と思はず考へ附て河內屋と云ふ古着屋に來て　万「旦那今日は　河「ヤア万次郎か何だ　万「少し旦那に御無心があつて來ました横山町の近源さんが今夜御息子の御誕生で出入の職人が茶番をすることになりまして………　河「ハテテ　万「役割は鬮引で當ッたんで　河「フウン　万「私は妙な鬮を引き當た　河「何の役になつたかへ　万「若旦那………　河「好い役が當ッたじやアないか　万「所が狂言の筋はチャントもう立ッて居るんで………其處で今日の茶番は頭鬘なし女方は仕方なく鬘を附けるとして素人着物で勸めることになりましたが彼處の隱居は誠に惡る洒落をする方で實に困ります夫れに付いちやア誠に氣の無へ話でげすが若旦那てへ役でげすから羽織着物帶どうか揃つてお貸し爲すッちやア下さいませぬか酒は飮みませぬからシミ抔を附ける氣遣はございませぬが………　河「アヽ幾らもある品物だから勝手に着て往くが宜いけれども旨くやらなくッちやアいけないぜだが素人茶番と云ふやつは却ッて遣損ッた方が結句面白い　万「マアそんなもんだ　河「此方に上るが宜い若旦那と云ふ役ば左も〳〵借物らしいツンツルテンの着物じやアいけない万の身体にピッタリ合ふ着物があるだらう一つ着て見などうだらうこりあ　万「こりア長へやア引摺るねへ　河「こつちはどうだ　万「こりア短けへウンコリアア宜い何の漢のと漸々黑の紋附獻上博多の帶羽織も身体にちやんとくッつくものが先づ整ひました　河「羽織と着物と紋が違ッてるぜ、紋が違ッてちやア困るが　万「なに夜だから宜うございます夫れに羽織を脫ぐ役じやアねへんだから………旦那何んぼ茶番の若旦那でもハケ先が散ッて居ちやア黑出立じやア可笑しうございますなア　河「さうよ髮は床屋へ往ッて直して貰へ　万「じやアさうしませう　河「ア充分受けさして來いよ　万「へーまあ受けさせる積りでございます

▲東京電報

▲現内閣の危機　件と濤…憲政本黨猶與會は合同して内閣攻撃を爲すべく爲めに内閣の危機漸く迫り來らんとす（九日大…轉電）

▲淸國の回答　辰丸事件に關し八日淸國より回答あり辰丸拿捕は不法行爲に非ざる旨を辯明し來れり

●大連特電

▲輿論の沸騰　辰丸事件に關する淸國の回答に接し東京の輿論は遂に沸騰せり

▲廣軌開通延期　四月より奉天迄開通すべき廣軌運轉は材料船沈没の爲め五月に延期せり

▲艦船の載炭忙し　佐世保の艦船は石炭積込みに忙殺せられ雲行漸く急ならんとす

▲招待會の盛況　七日日下部總長が主人と爲り在留各國領事及び日淸著名官商の招待會は非常の盛會なりし

▲市民大會　東京市民は對淸外交に政府の決意を促さん爲め日比谷に市民大會を開かんとす（九日通信員報）

倫敦電報（八日著電）

●アドリアチック鐵道問題　チトニ氏は露公使の質問に答へて曰く余は大署足下と同意見を有し居れり故に在土大使に向つて最强硬なる態度を持してアドリアチック鐵道事件に對して好意を以て援助を與へよとの訓電を發せり而して在羅馬の澳太利大使も亦だ本國は該鐵道に異議を唱へざる旨を詳電し來れりと

●英暹約條　該條約の協議は盤谷に於て進行中なり

伯林電報（八日著電）

●獨帝の漫遊　カイゼル皇帝はコルフに行幸の途次ヴエニスに於て伊太利皇帝と私的會見をなし歸途澳太利皇帝を訪問せらる可し

●英帝の首相訪問　エドワード皇帝は其の發程前に於て首相バンナーマン氏を訪問せられたり

●漁業問題進捗（邦人の州外漁業認許）

過日來我加藤總領事と陶交渉使との間に商議せられつゝありし漁業問題は極めて圓滿に進捗し兩三日中に決定終結を見るべき筈なるが聞く所に據れば邦人の州外漁業は日淸兩國人の合同とし淸國人の名義を以て出願する者に對しては邦人と雖も之を許可することに淸國の同意を經たるを以て今回の交渉は我邦に取りては比較的有利に解決せられたりと

●督撫會議の結了（議する所は何ぞや）

一督三撫が過日來督府に於て内外要政に關し鳩首凝議しつゝあるとは世人の周知する所なるが其の會議の内容に關しては絶對の秘密を嚴守し居れるを以て之を知るに由無しと雖も今奉天政界の消息に最も精通せる某氏の談に據れば内政に於ては財政軍備及び官制の改正にして外交に於ては併行線問題間島問題其の主に居り各問題とも督撫の意見大體に於て一致せる爲め會議の進捗も極めて敏速に進行し同會議は昨日を以て全く結了を告ぐるに至れる筈なるが財政問題に關しては調査の結果愈よ一千萬兩の歳入不足と爲れるを以て右補充策として各省の補助を仰ぐか外債を募集するかの二途を取るに決し幣政統一の方法としては吉黑兩省の貨幣鑄造を廢止し代ふるに奉天銀元を以てし軍備問題に關しては邊防一日も忽諸に附すべからざるを以て極力之が充實の方法を講ずるに決し官制問題に關しては内外多事の今日徒らに局所の廢合人員の異動は却て人心の動搖を生じ事務の混亂澁滯を免れざれば暫く現狀の儘とし更に時機を俟つ別項記載の如くなるが其の出發期は多分十三日なるべく朱吉林巡撫程黑龍巡撫も大約同日を以て出發夫々歸任の途に就くべき筈なりといふ

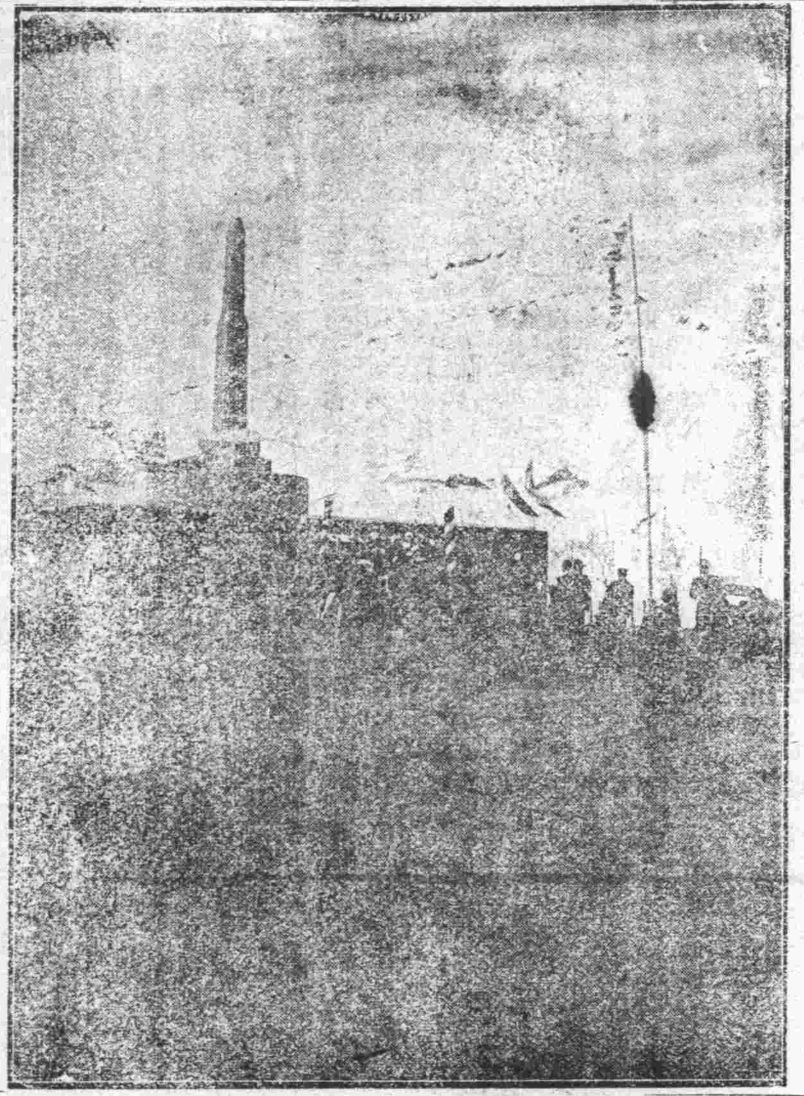
●加藤總領事の督撫招待

別項の如く奉天に於ける督撫會議は愈よ昨九日を以て結了せるを以て我加藤總領事は本日滿鐵公所に於て徐總督唐朱程三巡撫及び淸國側官吏の主もなる人々を招待し晩餐會を催すべき筈にて明日は督撫より右答禮として我加藤總領事及び各國領事を招待し盛宴を張る由

●唐上京兩撫の歸任

一週間に渉れる督撫會議も愈々結了し唐巡撫が其の結果を齎らし北京に赴くべき由ま

忠魂紀念碑（奉天郊外に於ける）



●辰丸事件と在奉淸民

辰丸事件に關し我邦が軍艦を急航せしめたるに對し奉天淸人間には我邦が淸國に對し戰意を有するものとし恐怖の念を懷き居れる者も鮮からざるが右に對する在奉淸國官憲の意向は之を知るに由無きも一部大官の間には頗る疑惑の目を以て之を迎ふる者無きに非ず目下事實の眞相を得るに勉めつゝありといふ

●本日の祝賀會順序

居留民一同が待ちに待つたる奉天紀念日祝賀會は愈よ今日となれり熱心なる各委員の奔走斡旋は諸般の設備遺憾なく成就し篤志者よりの寄附金昨日まで四百七十三圓の多きに達せり倩て本日祝賀會順序の一斑を記さんに

▼會場　は大西門外商品陳列館廣庭にて門には「祝奉天紀念日」と書したる大額面を揚げ緑門の代りにしつらえたり趣向仲々に面白く開會は正午十二時よりと定めらる

▼角力　は獨立大隊四十聯隊の寄附になり構内の東側に土俵を設けられ總員四十名二十組に分けらる軍人中の豪の者を拔ての角力のすまひ、エイヤの聲と共に四肱の響は會場爲に震動すべし

▼藝妓演藝　場は商業會議所の前に設けられ金城館、常盤の各紅裙腕に捻を掛けての優しさ角力の勇しさと共に會場時なら ぬ萬朶の花や咲くべく其の番組下の如し

▼變裝人探し　は別項記載の如く本社の主催に係り會場の門前左側に其の賞品進呈場を設け變裝人は如何に變裝すべきや天機のほど知りがたきも兎にまれ諸人の意表に出でゝ面白かるべく確かに本日のお笑ひぐさになること請合なるべし但し各余興は孰れも正午より開始さるべけば後れぬやう來會さるべし

▼宴會　は午後二時より美しく裝飾されたる展覧會場内に於て開始され立食の宴あり紳士、令夫人有ゆる各階級の居留民紅黄白紫相混じて本日の目出度日を祝すべき筈なり

▼模擬店　は午後三時より店を開き表込茶店、おでん屋、しるこ屋、うどんや、すし屋等各思ひ〳〵の嗜好に應ずべく愛らしき姐さんたちは入つしやいの聲優しく有りだけの愛嬌を振りまくべし

▼其他　各模擬店にてしたゝか喰ひ飽きたらん人は横濱軒のコーヒー店あり又本社

寄附の紅茶店（門の左側）あり孰れも皆オツ出たるつもり御贔負あれかし其他余興には尙武會の擊劍軍隊の出物あれども編輯締切までは趣向の分らぬ向もあり實況は次號に記載すべし

（藝妓演藝番組）

(三番叟) 初幕 御祝儀三番叟　金子　はやし　常盤 總掛　金城館

(舞)(地方) 二幕目 わすれしよか　時介　時子　小六　時次　仙駒　小力　梅勇　小鈴

三幕目 大藏卿　金城館

(大藏卿) 日垣之場　金之助　吉岡鬼治郎　鳴瀬　金丸　女房お京　金糸　仝　金子　仕丁　小金　仝　金五郎　次郎　一郎　茶屋亭主　金玉　仝　はやし　織氏

四幕目 大藏卿館之場　金城館　大藏卿　金之助　お京　金子　仝　一郎　鳴瀬　小金　腰元　次郎　八劍家解由　金玉　仝　金五郎　はやし　総出　士紅廣盛

五幕目 大藏卿御殿之場　金城館　大藏卿　金之助　八劍家解由　金玉　女房お京　金子　常盤御前　小金　吉岡鬼治郎　金丸　はやし　總出

六幕目 段廻り　金城館　大百日　金奴　公卿　金六　御供頭　金香　武藏業者　金之助　女奴　金遊　遊び人　金糸　田舍頭　金彌　仝　次郎　奴　金玉

七幕目 大薩摩　帶　盤　三味線　金榮　歌　金丸　はやし　金助　仝　金時

三國一　(舞)(歌)(三味線)　小六　引破鬼　小鈴　仙駒　時次　小力　時介　梅男　金城館

切幕 伊勢音頭戀寢刃 油屋段　福岡貢　金奴　仲居萬野　金六　おこん　金道　おしか　金糸　仝しか野　金彌　仲居千野　金子　今田万次郎　次郎　喜助二役　金五郎　德島岩次　金丸　藍玉屋北六　小金　太鼓持治郎吉　金玉　はやし　總掛り

●戰前の在住邦人（奉天に於ける）（奉天永淸文次郎氏談）

◎想ひ起せば最早や戰後第三年である。戰前に於ける在住邦人の狀態を以て戰後今日の夫れと較べたら殆ど夢のやうである。私が奉天に來たのは三十三年の二月で其前義兄の望月實太郎が三十二年に來て居たのであるが、其頃は邦人の數僅々五十名に過ぎなかつた内理髪業一、洗濯業一、寫眞業一ラムネ業一、料理屋二軒に過ぎない。是等營業者は總て露人を相手にするのである。◎然れども當時は今のやうな不景氣は聞きたくても見たくても無い。面白いほど儲かつたものである。寫眞は中判一打十圓位で一ヶ月優に一千圓の純益があつた。料理屋の如きは女一人一ヶ月の稼高六七百圓の上に出で一軒の總收入は確かに五六千圓を下らぬ。其他の營業者も之に準じて夫れは實に面白いほどであつた。◎夫れに家賃にしても今のやうに無法なものではない。支那の所謂一間で僅か二圓位のもの裏町はマダ安い、食料品とても卵は十錢に二十個、米は一斗六十錢位の相場であつた。之は無論露國官吏の支配を受くるが爲めでもあつたらうと思はれる。如斯く生活費は安い、金は儲かるといふ有樣であるから、偶々同胞が尋ねて來るとか、困難して居るとかすれば五十や六十の金は何んでもなく貸してやる否進呈する位である。私なども大分邦人の旅行者に進呈したやうに覺へて居る。◎然し、其半面には一種非常な困難事があるつと云ふのは通り一邊の手段ではオイ夫れと居住する事が出來ぬ。必ず露國官憲に甘く取入らねばならぬ。彼等の御機嫌を損ずると出來ないのである。多少の手段を廻らしても奉天を通過する位が關の山である。居住して營業をする、其困難と苦心は實に想像の外である。◎支那人に對しても勢力はない。露國官憲に威服して居る彼等は、我々日本人を蔑視して居るのである。故に勢ひ露國側の威を藉り又彼等を相手に營業するの外はない。當時此處の淸人が日本人を視る、恰も我國の田舍に在る小兒が西洋人を視るが如く日本人が通ると多數の淸人が附いて廻る。其んな風で當時の日人と淸人の間は呉越も啻ならぬのであつた。◎けれども、我々日本人は何日までも斯る淸人の蔑視と露憲官の壓制とに甘んずるとは出來ぬ。之に對抗する勢力を作らねばならぬ。則ち三十五年に至つて日本人會なるものが組織された。會長は望月氏が勤むる事になつて外に會計吏員一人を置き居住民男女の總てに會費を負擔させ男は月四十錢女は月二十錢と定めて會諸般の經費に充てたのである。而して我領事館と連絡を取りも多少邦人の行動を組織的にして不充分ながらも勢力を伸張せんとしたのである。（談未だ盡きず明日記載すべし）

一往一來

▲岩崎直英（奉天郵便局長）　一昨日大連郵便局長會議より歸任

▲小野英資（正金奉天支店長）　支店長會議列席の爲め十七日出發の筈

▲堺與三吉（副領事）　賜暇を得急々十九日頃出發の筈

▲增尾鉞三郎（運輸監督）　奉天驛貨物主任加山金之助氏と共に一昨日北京に赴く往復七日の豫定

▲モンゴリ（英國陸軍中佐）　六日來奉七日安東縣に赴く

▲田中松本緒方三局長　大連郵便局長會議に列席したる田中鐵嶺松本新民緒方安東縣局長は歸任の途次一昨日奉天驛に下車せり

□俳句應募者に告ぐ

本社募集俳句は〆切後一週日以内に發表する答なりしも本社は應募者金玉の佳什を尊重して其の選擇を輕々に附するの礙に非ざるべきを思ひ一括之を東京に送くりて某大家の選評を乞ひつゝあり大約月抄に於て之を紙上に發表するの光榮に接せんとす暫く應募諸君の諒を乞ふ

●明日は紀念日翌日に付休刊

奉天紀念日祝賀會寄附廣告

一銀五十圓 滿洲日報社　一同二圓 西海洋行　一同五圓 永淸寫眞館　一同二圓 盛進商行　一同三圓 …

合（有志者）延壽堂 村井松次郎　長壽堂 中江十五郎　五福藥房 大川榮三　誠昌堂 藤田與一郎　廣濟堂 左藤才太郎　永田大…

三圓 河野嘉吉　一同二圓 木原洋行　一同五圓 大塚奉天出張所　一同二圓 扇利洋行　一同五圓 前田…局　一同五圓 峰八…（累計銀四百八圓）△珈琲模擬店 横濱軒 △會…

郎 一同一圓 西原楠藏　一同一圓 野島政藏　一同一圓 …吉太郎　一同一圓 …　一同一圓 大野鐵太郎（小計銀五拾五圓）（累計銀四百六拾參圓）一銀三圓 齊藤壽雄　一同三圓 手塚…

伊勢町十五號地　大連市　中島屋本店　電話三四八番

✝中島專之助

マニラロープ　ターロープ　ジンクワイヤロープ　ワイヤロープ　機械類　二重瓶消火器　ポンプ管　唐物　食料雜貨

東京製綱株式會社特約店　支店 日本橋前　唐物部　支店 濱町　食料雜貨部

實直なる雜貨商を以て自信せる

浪華洋行　浪華洋行　浪華洋行　浪華洋行

は内外雜貨の流行品を低廉に販賣仕候
は正直頑固にして厘毛の懸引も不仕候
は大連市浪速町二丁目電話壹參貳番也
は精勵以て普く鴻客の滿足を計り申候
は世の進化に伴ひ改善發達を期し申候

醫家處方調劑所

内外醫療器械　井ニ藥品　有名賣藥　ホルマリン石鹸一手販賣

大連監部通正金銀行前　藤田盛大堂

洋酒洋食料品　洋菓子埃及莨　直輸入

大連電話四一八　三星洋行

時計　美術品商

大連大山通二丁目　萬松號（電三六八）

合名會社　大倉組大連出張所

販賣　鐵道鑛山水道用諸機械材料、電氣用品、豆及豆粕、麻袋、本溪湖石炭、セメント、アスファルト、煉瓦、木材、鋼鐵、其他一切ノ建築材料、土工用具、綱類、帆布及製品、アスベスト　其他雜貨

本店 東京銀座二丁目七番地　大連信濃町一一九番地

支店及出張所　倫敦、紐育、ベルリン、メルボルン、シドニー、香港、上海、漢口、天津、奉天、鉄嶺、長春、京城、仁川、臺南、臺北内地各要所、

…は餘程領…よし

聽て會長とも思はれる一人は徐ろに立つた、手には方八寸位の黒き一個の秘密箱を持て居る、先づ會長ば車座に着席して居る人數を筋へ。箱の中にある符札の數と引合せて間違無い事が分ると、今度は其箱を静かに右隣の一人に手渡した。同時に瓦斯は消されて後は綾なす闇。

一体此秘密箱と云ふのは何だらう。之は現時露國革命黨の用ゆるもの、構造は至つて無造作で、上部に手首が漸う這入る程の孔が一つあるばかり、丁度何の事はない壯丁の抽籤箱見た樣な風で、其中へ人員の多寡に應じて白紙の小さき符札が入れられてある。爰に一つ不思議なのは全票皆な白無地なる中に只つた一枚丈樺色の地に黒い髑髏を書いた髑髏符が交つて居る。夫れで何時でも斯麼秘密會に於て彼等會員が誰れかを死刑に處すべき宣告を議した時に此髑髏符の這入つた秘密箱は直に卓上に運び出される。言はずとも無論の事だ、死刑に處すとは暗殺と云ふ秘密手段を指すのである。何人が暗殺をして何人が暗殺されるかは結局此の髑髏符を抽いた機に總ての天命が定まるので……。今秘密箱は千秋盡きざる憐を含んで闇中を手より手、手より手と送り行くのであつた。霎時して瓦斯が撥と點つた時、早くも秘密箱は會長の手元に歸つてゐたが、中には符札の影も形も見えなかつた、然らばと云つて誰一人持つてゐるにも見えぬ。皆な奥深く懷中に藏めて全く素知らぬ顔をして居る。

會長は再び起つてやをら面々を一渡り……

……縷の樣な聲で

未來の共和國萬歲！

と言つたが又莞爾と打笑んだ。

…に伴ふて總立となつた。而して孰れも口唇に當て丶、秘密の誓をし、其儘無言で忍ぶが如く散じた。

…彼の見るからに凄い髑髏符は、抑も誰の手に落ちた乎、元より之を問ふ人も無ければ語る人も無い。無言は終に永刧の…である。

× × × × × ×

秘密會があつて、彼是もの丶一箇月も經たぬ内に鐵撫總督が長沙の邊りで黨員の毒手に斃れたと云ふ愕きの叫が江陵を下へ／＼と流れて、頓て世界の臺に響いた秋は、由子が愈々姙娠と定まつた時で、同時に彼女の身の上には限られざる悲しい哀しい椿事が降り湧いたのであつた。其れは彼女の夫が髑髏符を抱きながら身は所々爆裂彈に千切られて永遠の眠に入つたと云ふのである。

□新聞屋さん

新聞記者を俗に新聞屋さんと呼ぶのは慥かに冒瀆した言葉で、其實非常に怖はいのである。新聞記者を怖はがるのは後暗い處があるからで畢竟悪い者は自分である、ダミストは言つた罪ある者は光を怕ると。

愛煙者に警告

官烟は日本政府直營製造に係るを以て藥物又は外葉を混入せず故に品質精良なり

官烟は衛生的にして無害有効なり

官烟は香氣馥郁として精神を爽快にす

官烟の價格は世界的低廉なり

官烟「オリエント」は純粹埃及葉を原料とし特別精選したる兩切煙草なり

官烟「オリエント」は紳士向最良品なり

官烟口付煙草、敷島、大和、朝日は純粹日本葉中銘葉として著名なる優等品を原料とせり

官烟「スター」、「チェリー」、「リリー」は米國葉中最良の原料により精選したる兩切品にして價格非常に低廉なり

官烟「ロンクライフ」、「ハーチビー」、「ピーハー」は價格別段に低廉なるを以て頗る經濟的なり

官烟刻煙草萩、白梅、さつき、あやめ、はぎは目方豐富にして民製刻の如く中骨を混入せず故に品質惡變の憂なし

官烟は贈答用に適し至極輕便なり

東亞煙草株式會社
大連支店
營口出張所
遼陽出張所
奉天出張所
鐵嶺出張所

奉祝
陸軍紀念日

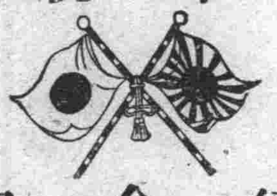
支店所在地
奉天小西門裡牛馬街
鐵嶺大神廟街
長春北大街

祝紀念日

椅子卓子類　花莚・ゴザ・蒲團類　人力車及び附屬品
洋服及附屬品　皮靴・文房具帳簿類　宇治茶・伊豫道後鹽
湯の花・珈琲・レモン　ひき茶・線香類

奉天小北門裡路西
第五區第二十五號
上田○商會
電話二百二十二番
電話略號（○）

奉祝



紀念日

會席御料理
奉天十間房
五角

祝陸軍紀念日

寫眞永淸
奉天大南門裡（電話一八）

祝紀念日

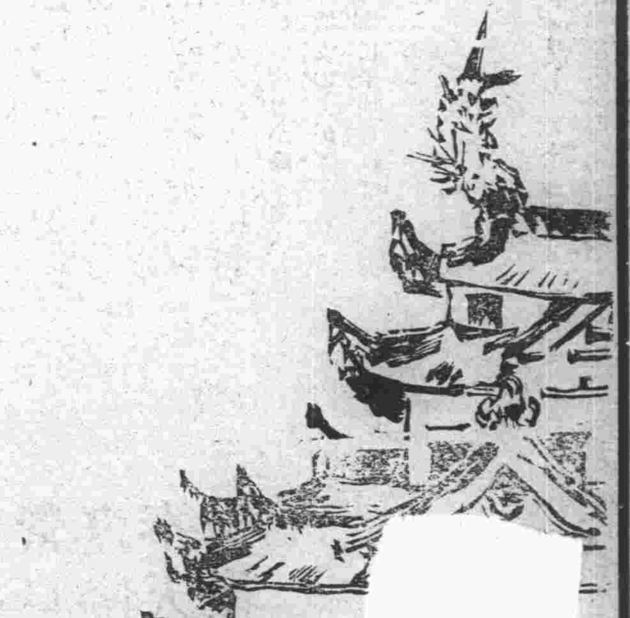
和洋雜貨食料品一切
精白米卸小賣
奉天日本町
中京商會

恭祝紀念日

專業旅館

支店開設御案內
奉天日本町（十間房）中程（鐵道馬車路北側）
白井旅館
客間は總おんどる室にして冬期の御宿泊には至て安樂なり
奉天日本町（十間房）中程より少し東鐵道馬車道南側
白井旅館支店
客室は總疊敷清潔にして內風呂の設備あり

1908年3月10日 (四)



奉天小西關北大什字街

高等 御料理 **金城館**

電話十九番

奉天小西關南大什字街

高等 御旅館 **金城ホテル**

電話二十番

奉天大西門內
會席御料理 **水晶館**

奉天大南門裏大街
會席御料理 **梅松館**

十間房路南
會席御料理 **福屋**
（電話一四四番）

日本町
會席御料理 **戎館**

今回內地より藝妓酌婦多數呼寄せ申候
會席御料理
淸國奉天十間房
深川

日本町
御料理 **日の丸亭**

日本町
御旅館 **日の丸館**

奉天小西邊門外

土木・建築 請負 **大倉土木組**

土木部 電話三〇番

建築部 電話一二〇番

唱戲（奉天に於ける）

唱戲に會戲願戲樂戲（戲館）の三種あり之れは支那全國到る處に演ずるものなるが或地方には其一又は二を欠くも概ね市街地に於ては時と塲合とに依り其何れを演ずるを例とし郷里村部落に於ては多く會議をのみ演じ願戲樂戲は之を演ずることなし今奉天に於ける唱戲の種類組織方法塲所等を述ぶるに當り此三種の區別を記せむとす

一、會戲は其地方に於ける團体（公議會商務會各宗敎團又は一般他方人民の集合團の如きもの）集會時又は土地の祭日祝日紀念日に於て其餘興として開演するものにして日時を制限し永續開演するものにあらざれば從ふて其外題等も又種々なるものを撰び一外題を以て數日に渉る如きことなく又此戲にあつては其市街地に於けるものは一定の戲館を借り受くるか又は廟其他の廣濶なる家屋を以て之に充て其地方に於けるものは多くは廟宇又は屋外にて多く人民の集合する地点を撰び開演するを例とす而して此會戲に於ける主意は元來營業の目的に出づるものならざるを以て其費用の一切は其團体より償ひ來看者（來聽者といふを適當とせむか）よりは少しの金錢だも取收せず何人と雖ども隨意に之を看聽するを得るといふ

二、願戲は支那に於ける一般習慣上妻を迎えて已に三年を經過するも未だ子女を設けざるときは必ず先づ一定の期間を限り之を神佛に祈願し以て其精神を慰するを例とせり此に於てか子無きの妻其子を設けたる時願望成就一家成立を歡呼し其御禮として開演するものなれば之れ元より營業の主趣にあらず衆人をして愉快に歡喜を盡さしめ一厘の費用をも徴收せず皆主人公の負擔とするものなれば自然此種の開演は上流社會にのみ多く中流以下には未だ多く見ざる所にして其塲所は多く各自庭園内に於てすといふ

三、樂戲（戲館）は一般官民の樂塲即ち觀戲に供する爲め內地のそれに於けるが如く一定の商民が官の認可を經て營業の目的を以て開演するものなれば從て其設備も完全し衆人をして遺憾なく看覽せしむる方法を取り其費用は各々等級を分ちて來看者より座席料として之を取立つるものとす而して其俳優と演ずる所の外題は時々之を取換ゆるを例とせるが其所作に至ては東西略同一樣なりといふ概ね此種に屬する戲館は多數の俳優（一排優）を有し北京天津上海等の繁…るものあり…戲劇に熱心なるかを知るに余りありといふべし

今奉天に於けるものを實地調査したるに前述三種の內會戲願戲に屬するものは今日直ちに其狀況を知るに由なく一般戲館として營業なしつゝある即樂戲に付調査したり

一、戲館の等級所在名稱

奉天大西關平康街　廣慶茶園（第一位）
仝小北關白塔寺內　天仙茶園（第二位）
仝大北關新發園內　天桂茶園（第三位）
仝小北門裡大街路西　會仙茶園（第四位）
仝大西關大什字街　增樂茶園（第五位）

此の外小北關に全盛茶園小西關に俱樂茶園小南關に暢樂茶園ありしが今は廢館せり

以上の內第一及第四に屬する戲館の現況を次に述べむとす（未完）

雙花爭妍

（奉天金城館の金丸と金之助）

支那人の風俗 一二

坪根生

▲支那人は如何なる高位高官な人でも手鼻をかむことには三舍を避ける、是れは殆んど先天的に出來て居る、東京で支那人を主に下宿させて居る旅宿の主人が話したことがあるが、彼等が居る所の室は立派な壁でも卓子の下でも到處手鼻をかんだ後の鼻くそが塗抹されて居つて實に困ると、實にその通りである

▲彼等の多くは冬になれば夏の衣裳を夏にかへるので下々のものは衣のみ衣のまゝのもの多く日暖かき土壁の下などにて明日出る船を昨日頃から待ち合せて居るのんきな連中がひなたぼつこをして虱狩を催ふして互に他を顧みて其獲物の多寡を誇つて居るなど呆れた人民である

▲欲が不潔と來たら實に痛いのである、少しく語ろー、若し上海に行つて縣城見物に新北門から入ろうなら門の正面は共同便所である臭氣鼻をついて通るだに不快である一寸と横町に這入る實は糞の山小便の川である、夏の旅行中などであの向の木影の下の青草の上で小憩しようと思つて行くと糞蠅がワーンと一齊に蜂起して到る所脫糞してあつて腰を下す所ではない、小丘がある役無し、老人が見童に涼傘をかざせて自分は東を向ひたり西に轉じたりして四方を見物して脫糞して居るのには驚くの外ない、支那人は人の脫糞して居るのを見ると立身せぬと謂ひ傳へて居つて知らぬ顔はして通る習慣がある、到る所垂れ流してあるのを翌朝拾糞的が拾ひに來るが猶ほ殘るこれが即ち支那の國本なる農業に非常な益を與へるその爲め地味が極めて豐饒になるのをその土を取つて肥料として用ゆる所は一方から見れば有益である

▲彼等間には戶毎湯を沸し飯を炊かぬのでそれ〳〵分業になつて居るから若し湯が入ると湯屋に一厘か二厘位容器に應じて持つて買ひに行く所は便利なものである所がこの湯は南方では濁つて居る河水を汲んで明礬を入れて濟ますのだから一時に澤山汲んで置く必要があるので挑水的が居るそれが自分は上に足から這入つて汲んで居る右岸では馬桶を洗つて居る左岸では洗濯をして居る米を淘いで居る中流には汚物や塵埃が漂々として流下して居るもし潔癖の日本人なら見る丈けでも氣絕して了ふだらうと思ふ、所がチヤンカラにならうと思へばこの水を呑んだ後の事であるがこれ位に堪へ得ぬ樣では到底支那にて事を成すにはだめである。

▲支那人は油をなめる國民であるのは誰でも知つて居る所であるが支那にある日本人でよく煎餅屋をやつて居るがこれが日本菓子の中で一番支那人の好む所であるが一度油にころがしたのは販路が更に廣いのに見ても分ることの邊も注意すべき所であらう

東洋と西洋との習慣の相違

在營　エムゴム生

▲日本人は食事の際子供などがおしやべりをすると行儀が惡いと言ふて叱る

▲西洋人は是れと反對で食事の時が終一番の樂みで全家打つどうて寄るのは食事の時丈けであるから其時は非常に賑かに四方山の話をし而して樂く食事をするである

▲西洋人は便所に往つても手を洗ふといふ事に余り重きを置かぬ便所の構造も違ふ点もある夫は自分の肉体から出た物は決して不潔でないといふ觀念がある然るに食事に就く時は必ず手を洗ひ髮をくしけづり而して食に就く

▲日本人は反對で便所は非常なる不潔なる處として小便をしても無論手を洗ひ口迄洗う人がある左右かと謂ふて食事の際手を洗つたり口を洗つたりする人は余りない樣である夫は一番不潔な便所へ往きて其時手を洗つたから夫れでよいとして居るが夫れから跡より以上の不潔の物に手の觸れた事やばいきんの附着して居る事には頓着なしで其儘食膳に就く

奉天大西關大什字街北
科埜洋行
井
營業科目
建築材料金物
亞鉛引浪板類
亞鉛引平板類
洋釘及亞鉛釘
銅及鎮鍮板
銅及鎮鍮針金
亞鉛板武力板
玆ニ古銅鎮鍮鉛
亞鉛其他買賣
科埜新之助商店

祝紀念日
吳服太物卸小賣
奉天小西關（電話三六）
牧野吳服店
千金寨
牧野支店

●大連●營口●長春
●公主嶺●湯崗●張臺子
土木建築請負
煉瓦石灰石材
及び各種建築材料
●鐵嶺●奉天●遼陽
●鄭家店
→●←
飯塚工程局

營業項目
醫療用藥品並器械
工業用幷寫眞藥品
有名賣藥幷化粧品
滋養品幷消毒藥品
其他
卸小賣
奉天鐘樓南路西
五福藥房
電話五十五番

清酒

●札幌麥酒　●日本官烟
●特等白米　●清酒金露瓶詰
尙今般御進物用として體裁優美の酒券販賣可仕候間御用仰付被下度候
奉天小西關路北
太
大塚奉天出張所（電話四十六番）

祝陸軍紀念日
美術寫眞
奉天小西邊門外
布田

祝紀念日
日本有名賣藥
醫料器械化粧品
長壽堂
奉天鐘樓南大街路東

祝紀念日
名家處方賣藥
醫料器械化粧品
延壽堂大藥房
奉天鐘樓南大街路東

和洋諸雜貨卸小賣
洋麪煤炭
奉天商品展覽會內
芳村穆

東三洋行
本店　奉天大西門內（電話二三番）
支店　撫順千金寨　帝國生命保險株式會社代理店
土木建築請負
鑿井探鑛井輸送
日淸諸官衙御用達
自製煉瓦石灰販賣
石炭石材木材
外建築材料

祝陸軍紀念日

精米雜貨
並ニ食料品
遼陽西門外
竹原洋行

材木、金物、疊、建具、
土木、建築、用達商、
遼陽西門外
石光洋行支店
(電話六十四番)

裁縫叮嚀
廉價速成
遼陽舊十四師團司令部東隣
大墟洋服店

祝紀念日

銘酒
報國
正宗
万年印
醤油
先春園製
銘茶販賣
遼陽西門外
平田支店

洗張業
遼陽西門外
山藤屋

和洋御料理
親切叮嚀に御取扱申ます
遼陽西門外
塔下園

和洋
御料理
遼陽西門外
丸山館
館主 丸山末吉

和洋御料理
大々的勉强
遼陽西門外
壽亭

和洋
御料理
遼陽西門外
梅廼家

和洋御料理
遼陽西門外
常盤
(電話五九番)

祝紀念日

和洋御料理
遼陽西門外
日進ホテル
電話一〇七番

高等御旅館
和洋御料理
遼陽西門外
遼塔ホテル
電話四七番

和
七
家

高
和
〇番
テル

高等御旅館
和洋御料理
遼陽西門外
藝陽館
電話五三番

高等
專業御旅館
遼陽破門一の橋北側
中央ホテル

大に勉强致しますから續々御影撮あらん事を希望致します
美術寫眞
遼陽白塔下
山本寫眞館
(電話四〇番)

和洋御料理
遼陽破門
月見樓

石材石灰煉瓦販賣
土木建築運搬受負業
㊁
丸二洋行

和洋
御料理
總而勉强致します
遼陽西門外
千歳館

和洋御料理
大勉强
遼陽城内西街
雲井舘

建築材料塗料
金物諸器械器
具梱包材料類
遼陽西門外
上田商行
行主 上田金城

[illegible]
病院始良政秀一同五圓公立病院陽檜垣春三一同二圓公立病院中島謙太一同二圓所森洋行一同二圓高田洋行一同三圓上田〇商會一同二圓燧京書局一同二圓大北門外某一同石川洋行一同五圓武井洋行一同一圓大谷愛三郎一同五圓東三洋行　同三十圓奉天賣藥業組
[illegible]堂竹田正八神藥堂杉本幸次郎草藥堂鶴原隣太郎萬壽堂奥田佐平（小計銀九十五圓）累計銀二百九十五圓）一銀十圓安達都一同十五圓日本官煙專賣處一同二圓安原洋行貸本部一同三圓柴谷合名會社一同二圓八草村明一同三圓奉天活版所一同五圓牧野吳服店一同
圓千賀洋行一同一圓[illegible]支店一同二圓東亞洋行一同一圓野村文藏一同二圓森商會一同一圓藤田靴店一同三圓城勇隆一同五圓力武支店一同一圓新枡一同三圓小島洋行一同二圓島田洋服店一同三圓瀋陽館一同二圓岩山清太郎一同二圓東清醫院一同三圓加藤侑吉　五十錢中越洋行一同五圓飯塚工程
一銀二圓多和田鷹之助一同三圓江中末吉一同二圓裏松洋行一同一圓河野孫四郎一同二圓大草村行一同一圓風月堂一同五十錢藤永寫眞館一同一圓五十錢中京商會一同二圓八島屋一同一圓五十錢白井旅館一同五十錢中村常一一同一圓松本庄三一同一圓西村多三郎一同一圓山田福太郎一同二圓岡村鐵工場一同一圓更科五十錢派出所田中一同五十錢須見禎吉一同一圓瑞波洋行一同一圓廣島屋一同一圓まからんや一同一圓近江屋商店三圓遼東新報分局一同一圓長谷增太郎一同一同一圓長谷丑太郎一同一圓原田彌市一同五十錢村上修介一同一圓中村作松一同（小計銀拾圓）（累計銀四百七拾參圓）

本日開催の懸賞變裝人探し

▲豫ねてお約束して置いた吾社主催の「變裝人探し」は愈よ本日正午の時計が鳴と共に七名の變裝者はヌッと展覧會構内則ち會場内に顯れ出で時計が四時を報するまでは間斷なく群集の中に混つて徘徊して居ります

▲借てお斷せねばならぬのは變裝の種類と懸賞額てありますが其後いろ／＼研究した結果變裝の種類を前以て發表しては趣味が薄い直に判つてしまう諸君則ち探し人の方に余り便利が多過るといふので變裝の種類は記載せぬ事にしました又懸賞額は初めの見積高よりも種々の雜費が存外豫算を超過しましたので一人三圓以上に價する賞品を進呈する事になりました之は無論祝賀會から進呈するのです

▲ソコで諸君は本欄に記入してある變裝者の氏名と顏の特點を記臆さるゝか又は之を切取つて持つてお在でになり正午から四時までの間群衆の中を能く注意なされば必ず判ります愈よ發見したら變裝者の氏名を呼び相違ない事が確定したら同伴にて場内に設けある「人探し事務所」に就て賞品を受取なさるのです但し二人以上の氏名を呼んだら無効です發見の資格はないのです更に人探し人の心得らるべき要点を左に記して置きます

一、變裝者は正午より四時まで會場内に徘徊する事
二、人探し人は徘徊者の顏の特点に注意せらるべき事
三、發見の際は其氏名を呼び變裝者の確答を得らるゝ事
四、發見確定したる時は變裝者と同伴の上事務所より賞品を受取らるべき事
五、祝賀會委員又は變裝者と知合の人は發見の資格なき事

▲概略此の五ヶ條で變裝者の氏名及顏の特点は

顏長く鼻高く左の眼尻に痣あり　大原荒次郎
顏細長く右の眉の[illegible]あり　大場澄巖
顏細長く右の眼の下に痣あり　村松正水
顏圓く口小く右の眼尻に痣あり　松井敏
細顏の鼻普通左の眉の下に痣あり　北住義雄
顏圓く左の眼の上にイボあり　北島元春
顏少し長く鼻の上に痣あり女に嫌はるゝ面附　いその玉助

の七名で注意すれば必ず判るやうになつて居ります

▲兎に角吾社及變裝者の面々は本日の盛典を祝すべく滿腔の熱誠を以て諸君の多大の趣味を添へんとするのですから階級や男女老幼の差別を問はず是非とも探し當てられん事を切に希望します

主催　滿洲日報社

鐵嶺　吉野樓芳子

四平街 馬賊の襲來

▼佐藤巡査部長兇手に斃れ▲
▼日清良民の損害千金を超ゆ▲

去六日夜十二時頃四平街支那宿昌客棧方福生公司（上村三信及支那人共同營業）方へ約十四五名より成る馬賊の一團來襲し一部分は家屋内に侵入し家人を脅迫して金員を奪ひ他の部分は全家の前后に埋伏して見張をなしつゝありしとは知らず全夜公主嶺警務署詰巡査部長佐藤虎次郎氏は夜警巡邏し所定の線路を踏み前記公司の警邏表に捺印せむとて赴きしに待構へたる兇賊共何かは猶豫すべき直に狙を定め一齊射撃をなしたれば何ぞ堪らん仝氏は其儘斃れたり此時仝公司に傭はれありし支那人某は走つて急を告げむとせしに是れまた賊に要撃せられ足部に重傷を負ひて倒れぬ扨彼等は既に火蓋を切たる事故長居は無益と直に隊伍を齊へ示威的發砲をなし何處ともなく走せ去りたるが仝日の損害は廣昌客棧日清貨幣取交せ七百九十四圓福生公司二百五十圓外に佐藤氏の刀及び短銃にして目下嚴重捜索中なりしとか兎に客多大の損害といひ殊に佐藤氏は職務上の爲めとはいひ乍ら空しく非命に斃れたるは返す／＼も痛ましき次第なり

人の声

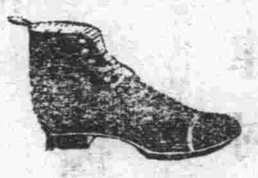
大連市場の外海洋行に行けば安くて台所の品物は全部揃から重寳だ（某料理屋頭番）▲昌圖四丁目千歳のタツ子とやらは國を紀せば九州パッテン兩親は犬の皮をむいて入らつしやる相だ（昌圖驚生）▲本日の紀念日は嘸賑ふ事だらう奉天を擧げて藝者酌婦を八十何名會場へ送り込むとの事である（草耳生）▲十日の紀念日にはアノ子は何んな風裝で出來るだらう夫れが待遠くてたまらぬ（セッカチの人）▲妾は何より文士劇が見たいと存じて居ります（看護婦より）▲三月十日大連虎公園の祝賀會の賣店で捕虜になる課紳士は果して何人であらうぞ（某筋豫言者）▲好いたとか好かれたとか云ふのは若い時の事で御座んすわい最う斯う年が寄つて了へば何もかも駄目ですよ（一髪結）▲貴社の催しに係る懸賞人探しは女でも小供でもよいのですか（な尋ね生）▲はい何方でも定めてある通りの手續を踏んで捉へれば可いのです（係り記者）▲人間の生血を吸ふて居る者が遼陽に三人居る貴社は未だ御存じなきや（清掃生）▲鐵嶺の君子は北間大連へ行くと言つてたが未だ行かない樣子だ一体何處迄欺すのだ（振られ男）▲妾は元〻左樣云ふ約束で一緒になつたんぢやありゃせん今になつて水臭いことを仰つしやるな兎に角手紙では駄目ですから紀念日の祝賀會で摸擬店の中で逢つて詳しく話しましやうよ（久ゝ子）

●本日の祝賀會と居留民の注意　昨年擧行されたる奉天紀念日祝賀會は居留民中金品其他の寄附をなさゞりしものは會場出席を遠慮したる向も尠からざりし由右は甚しき誤解にして寄附者と否とに拘はらず本日の盛典には居留民一般總出にて祝意を表するは居留民の義務且本分たるべきなり

●感心な兒童　奉天驛機關庫第十一號宿舍機關手與吉長男白賴勇雄（九つ）といふは目下奉天小學校へ通學しつゝあるものなるが去る七日宿舍内にて鞦韆をなして戯れつゝありしに其邊に支那壹錢銅貨一枚落ちありしを拾ひ直に奉天警務署へ駈け行き届け出でたりとは愛らしくも又感ずべきことにこそ

●奉天驛員の種痘　奉天滿鐵驛員一同の種痘は去る七日全驛構内清語研究所にて施行ぜられたり

●第二回瀋陽圍碁會　三月八日第二回圍碁大會を豐州館に於て開會す斯道者の來會するもの三十余名午後一時より戰を開き四人拔五人拔き等一名もなく三人拔き八名を出せしを以て更に三人拔きの決戰ありて終に當日の月桂冠は小西關吳服店牧野氏の手に歸し其外二等西川氏三等老田氏、四等佐野氏、五等吉田氏、六等向笠氏、七等阿部氏八等内海氏等當日の優勝者にして中々の盛會なりき



初瀨靴店は懇切丁寧を旨とし大勉强大販賣仕候市内御注文の方は電話にて御注文申付被下度地より御注文の御方は寸法御送付被下候へば々的御便宜可計候間何卒陸續御注文仰付被下奉願候也

短靴。長靴。
大連市伊勢町　初瀨靴店（電話一六一）
旅順乃木町三丁目　仝支店

御進物之好適品福引入櫻正宗
四合瓶　一打入 半打入 化粧箱
毎回四合以上無代價引替券贈呈ス
小賣
五樽以上特別大割引可仕候
卸賣

清酒大賣出　櫻正宗　櫻魂　正吉
釀造元　攝津灘魚崎　山邑太左衛門
特約販賣元　大連信濃町六十三號地　御門商會

祝陸軍紀念祭
祈在滿軍人健全
江原寫眞館
大連市吉野町二丁目角（羽前町通）

ガラス板。鏡
卸賣幷にハメ込請負
滿洲一品ノ長一丈巾五尺大硝子新荷着
大連市信濃町
Ⓗ松島商店

營業科目
●マルソイド便利瓦
●P&Bレデー便利瓦
●P&B建築用紙
●P&Bアスフアルト、フエルト
●P&8ルーフペント
●リノリヤム
●佛國製壁紙
●佛國製グラスペーパー
●濠洲製鋼鉄亞鉛打出天井、蛇腹、中心飾
●英國製バラショール、ベルト
●下女イラズ文明厨爐
●十文字式消火器
●米國製アイボリー石鹸
●米國ウオルサム懐中時計
大連伊勢町九號地
藤原商店

商標 ST
果實蔬菜
諸鑵詰乾物
海産物雜貨
幷ニ委托販賣業
問屋
大連市場
外海洋行（電話二二九番）
福井縣敦賀港蓬萊
内外海陸物産委托問屋　外海商店
發電略符（トノ）又（ハト）
浦鹽斯徳港
果實野菜委托問屋　東洋號

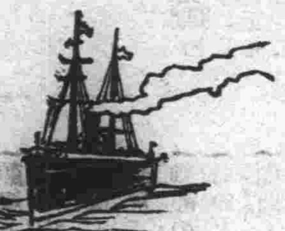
諸紙　小間物、紙類、一切小手帳類、
帖簿　並ニ筆墨、文具類
卸商
渡邊大連支店　大連伊勢町四一號地
仝支店　旅順忠海町三十七號地

祝陸軍紀念日

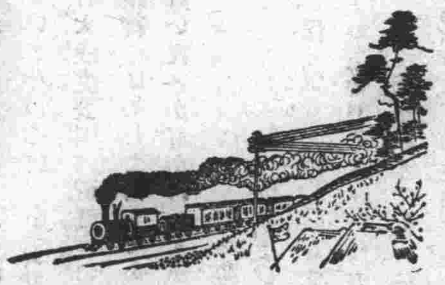
鐵嶺商品陳列館
(電話一〇七番 一三番)

三井物產合名會社
鐵嶺出張所
電話三八番

建築材料販賣
案圖計設業負請築建木土
鐵嶺
權太商店
帝國生命保險株式會社代理店
電話 本店 二七番 工事部 一一〇番 三四番



鐵嶺
內外通運公司
●輸送業
●大豆・豆粕・仲買
開原支店
鐵嶺支店



雜貨商
鉄岑西門外本通
三七商會
(電話百〇四番)

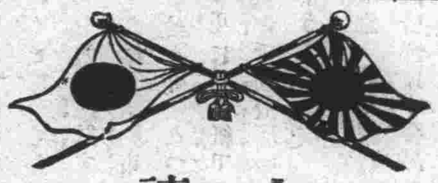
鐵嶺病院構內雜貨部
(電話百五十番)

鐵嶺火神廟街
淸國諸官憲各學堂御用達
日升洋行
(電話六八番)

日外洋行內土木部
土木建築請負
野村組本店
(電話六八番)

公主嶺鮫島通
仝 野村組出張所

長春停車場前
仝 野村組出張所



土木建築請負業
鉄岑西門外
天興公司

煉瓦製造
石炭、コークス、石灰、石材
鐵嶺 和登商行
電話一五一番 一四九番
器械製造修繕
建築金具一切
長春 和登鉄工所

淸國鉄岑官立銀崗學堂
屬托醫
杏林醫院
院長醫學得業士
津村專一
鉄岑火神廟

鉄嶺驛前
丸重洋行輸送店
(電話一〇五番)
營口 丸重洋行本店
大連同支店
遼陽同支店
奉天同支店
開原同支店
公主嶺同支店
家苑屯同支店
長春同支店

綿布豆粕貿易商
鐵嶺穗積洋行
電話五八番 六七番

電話開通
壹壹壹番(自宅)
五九番(工場)
鉄岑西門外
臼井忠三

鐵嶺
電話六十二番
万
御料理

營業科目
委托販賣
雜貨新古器物
諸官衙拂下品
毎三八の日開催
鐵嶺火神廟街
鐵嶺雜貨古物競賣所

會席御料理
鐵嶺
高砂ホテル
高等御旅館
(電話一三五番)

會席御料理
鐵嶺ホテル
高等御旅館
舘主 中野忠治
電話一二九番 一二三番

高等會席御料理
鐵岑西門大街
彌生倶樂部
(電話六八番)
(最新球臺二脚備付有之候)

鐵嶺
松華ホテル
電話 一一〇 四十五

○大連寬城子線
○京奉鐵道發着時間表